深よみめんこちゃん

季節外れの鬼退治（1歳児りす組）

保育室でバランスボードとカラーボールでボールプールのようにして遊んでいたりす組。

「おにわそと～」と言いながらどんどんボールを投げていくNちゃん。

豆まきのイメージを保育者が受け止め、怖がらないように可愛い鬼のイラストを貼ってみると…

すると今度は、S君がイラストにボールを投げ始めました。保育者が「当たった、すごいね」等声をかけると…

それを見ていたRちゃん。手で叩く→ボールで叩く→ボールを投げるというように遊び方が変わっていった。

その姿を逃さずに「ボール持つの上手だね」「ボールでも鬼さんにバンバンできた」等遊び方を認め、褒める声かけをして、もっとやってみようという気持ちに繋がるようにしました。

多くの子どもが興味をもってイラストに近づきバシバシと叩いていました。

こんなふうにそだってほしいなぁ・・・

さらに興味や関心の幅を広げていって欲しい。そして遊ぶ中でイメージを介して周りのお友達と一緒に遊ぶことへと繋がっていって欲しいな。

数人の子ども達が楽しんでいたカエル探しから、いつの間にか、ぱんだ・きりん・らいおん組へと広がっていったカエルブーム。つい先日の出来事です。

うわーい！捕まえた！（以上児）

園庭で一生懸命探すもカエルは見つからず…そこで悩んだ、らいおん組のＡ君、きりん組のＳちゃんは…

どうしたら捕れるかな？

いつもの田んぼに行けば捕れるかも!

A君とSちゃんはお互いの意見を言い合い、保育士に自分たちの思いを言葉で伝えます。

保育士
「そうか。行きたいね。でもみんな行きたいかな？

の保育士の問いかけに、また二人で相談し、一人一人の声を掛けて回り始めました。
「うん、行こう」の声が増えていくとA君は張り切った声で「早く片付けよう」と、その場を仕切って片付け始めました。
そして終わると**手を繋いで列になっている**ではありませんか。

しかし、田んぼでは、全体でカエル数匹しか捕れず…

今度は、別の子ども達から「明日は深堀神社に行きたい」とリクエストがありました。
帰りの会で「明日は深堀神社に行く？」と尋ねると、100％の子どもが「行く」と即答。

次の日、「今日は深掘神社に行くんだよね」と張り切って登園してきました。
もちろん、深掘り神社に行き、心ゆくまでカエルなどの生き物探しを楽しみました。

帰り道、子ども達から「やっぱり深掘神社に来て良かった」とつぶやきが聞かれ、一人一人の声を大事にすることの大切さを改めて感じました。

子ども達の試したり発見したりした時の嬉しそうな顔、驚いた顔、ワクワクした顔に出会えるように、自ら遊び込める環境を作り、一人一人の声を大事にしながら、興味、関心を深めていきたいと思います。

こんなふうにそだってほしいなぁ・・・

次の日もカエル探し、その次の日はヤモリ探しと大忙しなと子ども達。これからも自ら身近な自然に親しみ、もっともっと遊び込んで欲しいな。その中で、生き物を大切にする気持ちや遊びの中で出てきた「なぜ、どうして」等の不思議に思う気持ちを育んでほしいな。

毎回のお洗濯申し訳ありません。また、生き物が苦手なおうちの方もいると思いますが、子ども達の頑張りを「すごいね」と受け止めていただきありがとうございます。その言葉に後押しされて子ども達は今日も生き物探しに心躍らせています。